

授業科目

装具学II (下肢装具)

担当教員名 笹本 嘉朝、前田 雄、須田 裕紀、高橋 素彦	対象学年	3	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

下肢装具の概念、分類、名称、主なコンポーネントの種類と機能的特徴について理解する。下肢の疾患および障害に対応した下肢装具のデザイン決定、製作および適合を行えるようになるために下肢の疾患および障害、当該部位の評価方法、下肢のバイオメカニクス、下肢装具の種類等の基礎知識を習得する。

授業の目的

代表的な下肢装具と適応疾患・障害について学んだ後、下肢装具のデザイン決定のプロセスについて仮想症例を通じて理解を深める。採寸・採型、製作と適合チェックのプロトコルなど、各装具の処方や製作工程に必要な専門的知識を修得する。

学習目標

1. 下肢装具の定義、分類、用語、使用目的について説明できる。
2. 下肢の解剖・機能解剖、およびバイオメカニクスについて説明できる。
3. 対象となる疾患と障害について説明できる。
4. 下肢装具のデザインを決定するための評価方法について説明できる。
5. 下肢装具の臨床工程で求められる義肢装具士の役割、責任、および求められる態度について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス・下肢装具概論	講義	笹本 嘉朝 他
2	下肢の解剖・機能解剖・バイオメカニクス	講義	須田 裕紀 他
3	下肢装具学各論1：足部疾患と装具	講義	高橋 素彦 他
4	下肢装具学各論2：足関節の機能障害と装具	講義	前田 雄 他
5	下肢装具学各論3：下肢の骨折と装具	講義	笹本 嘉朝 他
6	下肢装具学各論4：足関節および膝関節疾患と装具	講義	高橋 素彦 他
7	下肢装具対象者の評価方法	講義	前田 雄 他
8	下肢装具の臨床工程と義肢装具士の役割、責任、および求められる態度	講義	須田 裕紀 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	装具学 第4版	日本義肢装具学会 監修	医歯薬出版	2013年	6,200円+税	2年次購入済
参考書						
その他の資料						

評価方法

最終筆記試験90%、小テスト10%とする。

履修上の留意点

本科目は「装具実習II(下肢装具実習)」とあわせて行われるため、両科目の相互理解が重要である。
※原則、授業の1/3を欠席した者は科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点を最終評価から減点する。

オフィスアワー・連絡先

月曜日 13:00~17:00
研究室：第5研究棟L309 (笹本)
sasamoto@nuhw.ac.jp

他の科目担当者メールアドレスは以下の通り。
yu-maeda@nuhw.ac.jp
suda@nuhw.ac.jp
motohiko-takahashi@nuhw.ac.jp